

小売業向け 4Gコネクティビティ

概要

現在ほとんどの小売業では、複数の決済手段を提供しています。モバイル決済が普及しても、実店舗ではカード決済が欠かせない存在であることに変わりはありません。また世界中の企業は、業務管理や透明性を高めるために、在庫管理の自動化システムに多くの投資をおこなっています。

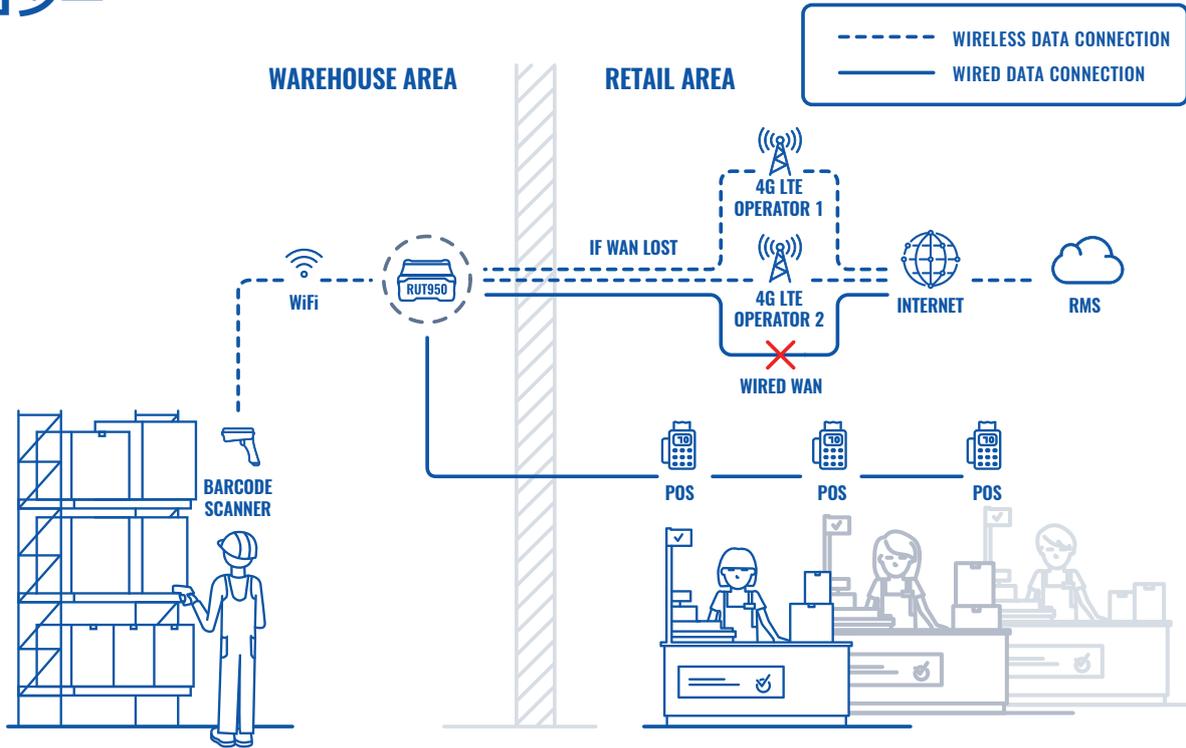
挑戦

本質的にすべてのカード決済には、金融機関の中央システムで処理/検証されるアクティブなインターネット接続が必要です。一般的なPOSシステムは、有線（イーサネット）または無線インターフェース（Wi-Fiまたは、セルラー3G/4G）を介して接続できる支払い端末で構成されています。当然のことながら、1台のPOSデバイスが持つ通信テクノロジーが多いほど、エンドユーザーにとってコストは高くなります。今日、バーコードスキャナは、効率的な倉庫保管と在庫レベル管理の不可欠なパーツです。このようなスキャナは、在庫管理プラットフォームに接続するためにWi-Fiを介したアクティブなインターネット接続を必要とします。多くの場合小売店は、ほとんど制御できないローカルISPによって管理されている有線インターネットアクセスに依存しています。残念ながら、今日でも中断することなく100%安定したインターネットサービスを保証できるサービスプロバイダーはありません。数分の接続ダウンタイムでさえ、売上、顧客、在庫の損失という点で小売業には多大な損失をもたらす可能性があります。

ソリューション

接続のダウンタイムは、既存の有線WANとインターネットへのアクセスを必要とする小売店のインフラ間に4G LTE セルラー ルータを追加することで簡単に解決できます。このようにRUT950を使用して、Wi-Fiを介しイーサネット経由でPOSシステムへの接続をおこなうことができます。有線WANが失われたり中断されたりしたことを感知すると、インターネットのソースとして自動的に4G LTEに切り替わり、接続されたデバイスに継続的なインターネットサービスを提供します。

トポロジー



メリット

- RUT950は、迅速に導入でき使いやすいため経験の浅いインテグレータやビジネスオーナーでも4G LTEバックアップソリューションを利用できます。
- スケーラビリティ：1台のRUT950で、最大100人のユーザー（バーコードスキャナやPOSデバイスなど）にWi-Fiサービスを提供できます。
- セキュリティ：ファイアウォールと複数のVPNサービスが組み込まれているため、中央銀行システムや株式管理プラットフォームなどへの安全な暗号化接続を確立できます。
- 継続性：有線WANおよび4G LTEバックアップにより、ビジネスオーナーは接続を完全に制御できるため投資はほとんど必要ありません。
- 信頼性：RUT950にはデュアルSIMフェールオーバー機能があり、モバイルデータ接続が失われた場合、デバイスは自動的にセカンダリSIMに切り替えることができます。

なぜテルトニカなのか？

テルトニカは、信頼性が高く、安全で使いやすい産業用セルラールータおよびゲートウェイを開発/製造することにより、ミッションクリティカルな通信を専門としています。4G LTEバックアップのための提案されたソリューション - RUT950は、テルトニカリモート管理システム（RMS）とも互換性があります。このプラットフォームは、テルトニカのすべてのルータとゲートウェイのステータスやパラメータをリモートで管理/監視することを可能にします。これによりシステムインテグレータは、構成された接続インフラを常に把握し、カスタマイズ可能なアラートやレポートを受信して、小売顧客のインターネット稼働時間を100%確保できます。

